

2022. 5. 26

報道関係者 各位

< 配信枚数2枚 >

【立命館土曜講座のご案内】

6月テーマ「コンピュータが暴く英語の実態：副詞と定型表現」

開催日時：2022年6月18日(土)・25日(土) 10:00～11:30

開催方法：オンライン(Zoom ウェビナー)

6月の立命館土曜講座は、国際言語文化研究所の企画として、「コンピュータが暴く英語の実態：副詞と定型表現」をテーマに、オンライン(Zoom ウェビナー)で開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 6月テーマ「コンピュータが暴く英語の実態：副詞と定型表現」

(1)第3360回「自然な言語表現のための副詞の有効活用：英語を中心に」

日時：2022年6月18日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学言語教育情報研究科 教授 滝沢 直宏

(2)第3361回「外国語学習における高頻度フレーズの明示的学習の重要性」

日時：2022年6月25日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学言語教育情報研究科 教授 Coulson David(クルソン デビッド)

開催方法：オンライン(Zoom ウェビナー)

内 容：別紙参照

聴 講 料：無料

定 員：400人 ※実施2日前17:00までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法：立命館土曜講座のWEBサイトよりお申し込みください。

<http://www.ritsumeikan.ac.jp/acd/re/k-rsc/kikou/doyokozakikoh.htm>

主 催：立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他：文字通訳を配信しています。

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当：武田・瀬古

TEL.075-465-8224

別紙

■立命館土曜講座 6月テーマ「コンピュータが暴く英語の実態：副詞と定型表現」

(1)第 3360 回「自然な言語表現のための副詞の有効活用：英語を中心に」

日時：2022年6月18日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学言語教育情報研究科 教授 滝沢 直宏

講師による内容紹介：

「最近、めっきり涼しくなってきましたね」、「奈良を訪問すると、なぜか懐かしい気分になります」、「彼の発言は、ずっしり重く胸に響いた」のように、「めっきり、なぜか、ずっしり」などの副詞を適切に使うと、日本語としてとても自然な表現になります。副詞は、文の骨格には関わってこないもので、文法研究の観点からはあまり重視されないかもしれませんが、自然な言語表現のためには大変重要な品詞です。どの副詞がどの語と相性良く結び付くかは、電子化された大規模な言語資料(コーパスと呼ばれます)をコンピュータの力を借りて処理することで暴くことができます。言語知識は、頭の中に存在しているわけですが、本講座では、その頭の中に無意識に存在する知識をコンピュータの力を借りて暴く試み(「無意識の知識を炙り出す試み」)についてお話します。英語を中心に、日本語にも触れながら、副詞がどのように自然な言語表現に寄与するかを考えます。

(2)第 3361 回「外国語学習における高頻度フレーズの明示的学習の重要性」

日時：2022年6月25日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学言語教育情報研究科 教授 Coulson David

講師による内容紹介：

英語学習者が知っている単語の数は、流暢なスピーキング能力とは部分的にしか関連しないことが研究で示されています。定型表現も重要になります。「コロケーション」とは、よく使われる2つ以上の単語(例:strong coffee)の組み合わせのことです。コロケーションは独立して処理されるため、より多く知っているほど、流暢に話すことができると想定されています。つまり、コロケーションは、受容的言語活動や生産的言語活動において、新規の単語列よりも迅速かつ正確に処理することができるようになります。コーパスに基づく研究でも、言語使用における学習者の語彙の一部としてのコロケーション知識の重要性が認識されています。スピーキングのためには、英語学習者がしっかりとしたコロケーションスキルを身につける必要があるとされていますが、非ネイティブスピーカーとネイティブスピーカーが、高頻度のコロケーションを含む短文を繰り返す能力を比較した結果、この2つのグループの間にギャップがあることが判明しました。本講座では、参加者にもこの課題を体験してもらい、英語教育への示唆を述べます。

■立命館土曜講座

1946年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEB サイト> <http://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/k-rsc/kikou/doyokozakikoh.htm>